

2011年6月19日

日本養生学会会員各位

世話人 天野勝弘（関東学園大学）

## 第2回ようせいサロン特別勉強会のご案内

以前にもお知らせしました「ようせいサロン特別勉強会 第2回目」を下記の通り開催いたします。

皆様の参加をお待ちしております。

第1回目の参加者の皆様の意見を参考に、内容を若干変更していただきました。

※今回から会場が神楽坂になりました。

第2回：7月2日（土） 時間：午後1時～午後4時

テーマ「養生学研究における数理統計学的検定の意義と歴史について」

講師：井上洋先生、白石安男先生（東京理科大学）

場所：東京理科大学神楽坂・PORTA 神楽坂大学会館7階第3会議室

<http://www.risoukai.com/risoukai/activities/hall.php>

（JR 飯田橋駅西口出て左へ徒歩2分）

内容：各分野において、さまざまな統計学的な検定方法が使用されている。これは、近年ITおよびツールとしてのPCが歴史革命的に進展したため、私たちの生活のみならず、研究活動も便利になったためである。しかしその反面、研究分野における統計ツールが安易に使用され、紀要レベルの雑誌では明らかに誤用されたケースが目立ち、誤った結果が公表されるに至っている。これは、古くからの問題である機械との共生問題の一部であるともとらえることができる。そこで、日本養生学会では正しい研究方法論を確立していただきたいという思いから、次の2点を問題提起したい。

1. 養生学的見地においた、これからの生活ツールとしての機械（コンピューター）との共生という大きな問題の再考。
2. 今回のシリーズの流れから、統計学的な面で誤用が生じる主たる問題である数学的な理解の程度。

特に、今回は2. の立場を中心に講義し、1. のテーマについても皆さんと話し合いたいと考えている。そこで、井上先生からは、テーマについての概論を講義いただき、白石先生からは、コンピューターは何を計算しているのか？を、実例から実際に計算を体験する講義（前回同様）をいただく予定である。